

令和2年度の重点課題

令和元・2年度の課題

- 男子
「20mシャトルラン」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子
「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 共通
「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」が県平均値かつ全国平均値より低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 重点強化体力として、本年度は柔軟性と持久力の2つを設定する。
- 「体力貯金カード」を児童に配布し、家庭でも柔軟性や走力・筋力を鍛えるようにする。
- 体育朝会では、短距離走・持久走・縄跳びなどを行い、持久力や柔軟性の向上をさせる。
- 体育の授業で、準備運動にストレッチで体をほぐしたり、持久力を鍛える体づくりを行ったりする。
- 瀬小っ子サーキットの作成し、授業の前に活用する。

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.70	19.65	33.15	41.85	49.10	9.30	157.85	21.55	54.30	第5学年	16.10	20.45	39.15	41.35	39.25	9.60	151.60	11.65	56.85

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.70	19.65	33.15	41.85	49.10	9.30	157.85	21.55	54.30	第5学年	16.10	20.45	39.15	41.35	39.25	9.60	151.60	11.65	56.85

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	63.6	15.2	15.2	6.0	第5学年	36.70	50.00	10.00	3.30

学校独自の意識調査

1週間で外遊びを5日間以上行った児童の割合(実態調査)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	ひまわり
5・6月	69	74	74	70	49	54	83

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 瀬小っ子サーキット(運動場)を授業の最初にルーティーンとして活用する。また、ワークに設置している3本テープを活用して、反復横跳びのやり方や姿勢について学習する。
- 体育発表会や持久走大会に向けて、スタートや腕振り、足の上げ方など走り方の指導を適時行う。
- 体全体を使ってボール(大・小)を投げる投げ方をゲームの中で指導を行う。
- 主運動に関連した準備体操や補助運動などを児童に考えさせ、積極性を養う。

体育の授業以外で行う取組内容

- 1 体育集会(月1回)に短距離走・持久走の走り方、縄跳び等の指導を行う。
- 2 ランタイム(持久走大会前の大休憩5日)の取り組みを体育委員会と連携して行う。
- 3 外遊びの推奨。休憩時間、運動場だけでなく体育館の開放を行い遊びの場を広げる。
- 4 コートヤードを開放し、縄跳び運動を行う。

重点課題

- 握力・立ち幅跳びが平均を上回っている。
- △ 男女ともに、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、ボール投げが平均を下回っている。
- △ 運動が好きな児童が80%以上いるが、嫌いな児童が男子は21.2%、女子は13.3%いる。

令和4年度の重点目標値

- 運動やスポーツをするのがややきらい、きらいと答える児童の割合を学級の10%にする。
- 1日に1回は遊び・運動を体験する。(大休憩・昼休憩・家庭での体づくり)
- 「20mシャトルラン」、「50m走」は、AB率を全体の50%以上にする。
- 「反復横跳び」「ボール投げ」は、身体を大きく動かし、上半身や下半身の動きを丁寧に捉えさせ、各運動に取り組ませる。
- 低学年の時から自分の体の動きを視覚化(タブレット活用)・言語化しながら技能を習得させる。